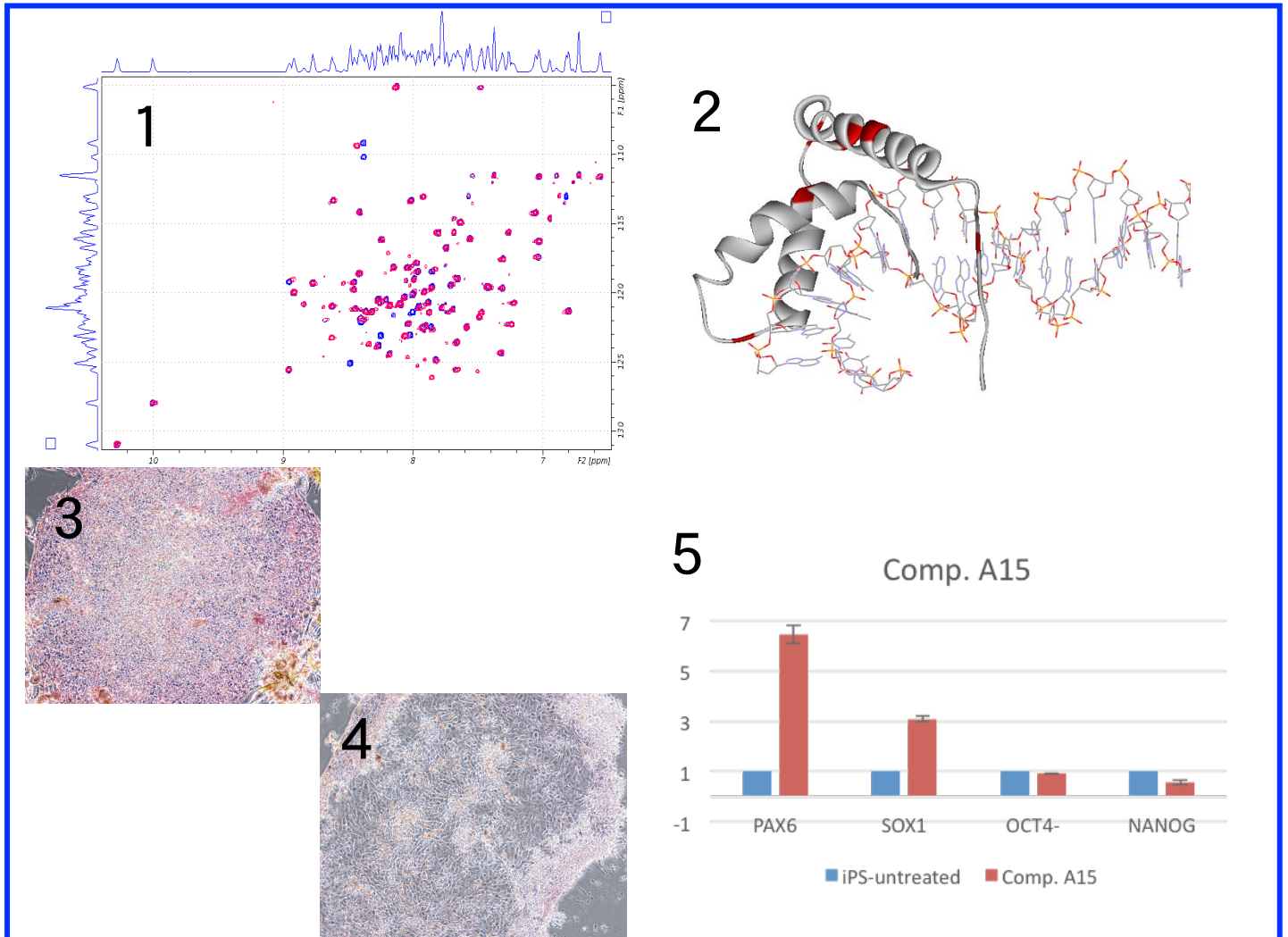


多能性幹細胞の誘導及び神経細胞への分化を促す一連の化合物の 探索とそれらのプリオン病への応用

研究開発分担者： 岐阜大学 桑田一夫



解 説

1. iPS細胞関連遺伝子であるSox2のNMRスペクトル。これにより、化合物の結合部位が明らかとなった。
2. Sox2と効果のあった低分子化合物との結合部位(赤)。
3. 何も加えないiPS細胞。
4. 化合物A15を加えたiPS細胞。分化している様子が分かる。
5. 分化した細胞は、Pax6やSox1のmRNA量が明らかに増加しており、神経細胞の方向に分化していることが分かる。